医師国家試験対策委員会活動報告

医師国家試験対策委員長　５年次　**黒　崎　滋　之**

盛夏の候、同窓会の先輩方、在校生の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は医師国家試験対策委員長を務めます、医学科５年次の黒崎滋之と申します。現在の医師国家試験対策委員の活動状況などをご報告したく思います。

今年度の医師国家試験対策委員（以下国対委員会）は総勢43名の有志で活動を行っています。43名という人数は他大学の国対委員会と比べると圧倒的なものでありますが、

さて、国対委員会の活動内容は、大きく分けて
(1) 模試・講座案内、
(2) 国試・マッチング等講演会、
(3) 国試ホテル合宿と受験会場サポート、
(4) 九州ブロック会参加の四つがあります。

模試・講座については、予備校が開催している模試やビデオ講座の案内を行い、その申込や実施監督、テキスト配布などを行っています。本年度は同窓会ご厚意により、予備校の一つであるMECによる春プレ模試の受験料を全額援助して頂き、５月14日（土）に本学臨床講義棟２階の大講義室にて実施することができました。多大な支援をして頂き、誠にありがとうございました。

講演会については、例えばマッチング結果発表直後に６年生によるマッチングの状況に関する講演会を開催し、また国試受験後に６年生による国試対策についての講演会を開催するなどしています。本年度も講演会を予定していますが、新しい切り口での講演会を現在、国対委員会一同で考えているところです。

国試ホテル合宿と受験会場サポートにつきましては、国試受験生のみなさんの負担をできるだけ軽減するよう、国試前日と受験日３日間の計４日間、ホテルと試験会場にて様々なサポートを行っております。本年2月12日～14日に行われた第105回医師国家試験受験においても、多くの受験生から感謝の言葉を頂きました。

九州ブロック会は九州・沖縄地区にある10大学医学部の国対委員会から構成されており、各大学の情報を共有する場であるとともに、交流を深める場でもあります。毎年６月と11月に九州ブロック会は開催され、各大学の国試やCBTの結果分析、国試対策の情報共有などを行っています。先日６月18日（土）には琉球大学にてブロック会が開催され、第105回医師国家試験の分析や現在の各大学の対応などの意見交換などを行いました。これらを琉球大学と受験生にも還元できるよう、様々な対応を協議したく考えています。

来年２月に行われます第106回医師国家試験に向けて、受験生の皆さんが受験に集中できるよう、国対委員会一同精一杯サポートしていく次第です。また、それ以降の医師国家試験受験にもいい影響を与えられるよう、頑張っていく次第です。これをもって、医師国家試験対策委員の活動報告とさせて頂きます。